



# FSCだより

北里大学獣医学部 附属フィールドサイエンスセンター

第38号 2010.8.30

## FSCの設立趣旨

土地、植物、動物及びそれらを取り巻く環境を生命系として教育・研究を行うとともに、これらの研究成果を通して、広く地域社会の発展に寄与することを目的とする。

## 十和田農場から

### 十和田キャンパスでの口蹄疫対策

口蹄疫発生に伴い、十和田農場と大動物診療センターでは、出入りするトラックなどを厳重に消毒しています。6月上旬から古い動力噴霧器を用い、10号館大動物診察室前の駐車場で出入りのトラック、家畜運搬車の消毒を実施していましたが、6月21日からは新しい動力噴霧器を購入して消毒しています。このほか、いままで実施していた長靴の洗浄と踏込消毒に加えて、主な通路に消毒用マットを設置しました。

トラック等の消毒は、口蹄疫終息後も引き続き実施する予定です。



## 八雲牧場から

### 平成22年度道南人工授精師総会に出席

4月23日に、道南人工授精師総会および研修会に畔柳准教授、久保田主任、山田主任、折目主任が参加しました。

人間における生存率を用いた繁殖経営診断法に関する研究など、臨床獣医師や家畜授精師にとって、有益な研修会でした。研修の後の交流会でも、普段牧場内では聞くことのできない貴重な体験談などを聞くことが出来、大変勉強になりました。

### TBS「夢の扉」の取材ロケ終了

3月の初回打合せより、数回に分かれて行われてきた「夢の扉」(TBS系列：毎週日曜18:00～18:30)の取材が無事終了しました。冬期間の飼育の様子から始まり、放牧開始

時、放牧地分娩、牧草収穫、研究および牧場の自然など季節に合わせた取材が行なわれました。放牧地分娩ではカメラマンを中心に徹夜での撮影が行われました。30分番組とは思えないほどの内容でどのような形で放映されるかとても楽しみです。

### 循環型畜産研究会 in 八雲

恒例になりつつある循環型畜産研究会の八雲牧場現地検討会が、6月18日～19日八雲総合実習所の講義室にて執り行われました。

今年は八雲牧場を利用した研究課題が増え、その課題ごとの八雲牧場の窓口および担当者の確認と、各研究に関する質疑応答が活発に行われました。八雲牧場から多くの業績が生まれることを期待します。

### 口蹄疫防疫対策

宮崎県で口蹄疫が発生したことに伴い、八雲町では口蹄疫侵入防止対策本部を立ち上げ、その一環として八雲牧場に通じる町道に簡易ゲートを設け、八雲牧場への関係者以外立ち入り禁止措置がとられました。

牧場としても独自に、進入車両に対する道路上への石灰散布および消毒液の噴霧を実施しています。

### 生物生産環境学科の実習無事終了

生物生産環境学科2年生の学生実習が5月24日～5月26日、5月26日～5月28日の2班に分かれて行われました。

八雲牧場を拠点にしたバスによる見学実習が主体の実習ですが、キャンパスでは体験できないたくさんの知識を得ることができたのではないかと思います。

### グラスサイレージ収穫

今年は5月の初旬から気温が上がらず冷夏の情報があり減収を心配していましたが、6月に入り暑い日が続き、牧草も人の背丈程まで伸びました。予想以上に多くの収穫量が確保でき全てのバンカーサイロに収穫することができました。

刈り取り時に小雨が当たることが多かったため、若干高水分のサイレージとなりましたが、うまく給与していこうと思います。

### 「大学は美味しいフェア」

6月2日～8日に新宿高島屋で開催された第3回「大学は美味しい!!」フェアに、今年は庄司と折目の二名の職員が参加しました。八雲牧場からの出展は今年で3回目となりますが、今回は北里大学保健衛生専門学院管理栄養科の岡山先生と八雲牧場で開発した、北里八雲牛の挽き肉を使ったカレー風惣菜の「和」を新しく加え、従来の草熟北里八雲牛の商品と合わせて、販売を行いました。販売には、岡山先生と岡山ゼミの学生さんに新潟から日帰りで応援に駆けつけていただいたり、本部広報部や十和田キャンパスなど多くの方々の応援を頂きました。皆様のご協力に、感謝とお礼を申し上げます。

展示用ポスターも本部広報部の協力によりリニューアルし、岡山先生考案の「和」に味噌を和えて豆腐にのせた料理の写真など、調理例を商品の近くに飾るなどして、商品陳列にも工夫をしました。

「和」を試食頂いたお客様からは、「美味しい、食べたことの無い味!」「珍しいね。」などの感想をいただきました。

「和」は、八雲牧場や八雲町内の販売店に置いております。ご賞味を希望される方は、八雲牧場まで、気軽にご連絡下さい。



(編集担当：畔柳 正)